

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX049-272-7092 ホームページ <https://hatoyama.info/>

新鮮タケノコを味わおう!

自分で掘ったタケノコは格別な味
タケノコ掘り みそ汁・焼きタケノコ

4月23日(日)

集合場所 上熊井農産物直売所「ちよっくま」
「ちよっくま」から 会場へご案内します。

集合時間 10時 ~ 解散 13時

会場 利根川さんの竹林(熊井の森)

参加費 300円

会場でタケノコ汁・焼きタケノコをご用意します。
おにぎりなど弁当は各自でご用意ください。
集合場所の「ちよっくま」でも、購入できます。

別途、ご自分で掘ったタケノコは
量り売りでお求めいただけます。



事前申し込みください

アクセス

- ・電車利用 東武東上線高坂駅西口→鳩山町北部線「上熊井・越生駅」
方面行 8:15 発→(約 20 分)上熊井下車
- ・車利用 関越自動車道坂戸西スマート IC 下車→鳩山町役場 方面へ→
鳩山駐在所を左折→県道41号線を越生方向へ、左側に
上熊井農産物直売所「ちよっくま」



主催 NPO法人はとやま環境フォーラム
熊井の森トラスト基金
049-227-3001 090-2457-8513 (愛場)
メールアドレス kawasemi3001@gmail.com

注 路線バス停の横

熊井の森写真学校《第6期受講者募集》

知る楽しみ、撮る楽しみ

いつも際にある景色、レンズを通してみると世界がぐんと広がっていきます。
ネイチャーガイドでもあるプロカメラマンが
ネイチャーフォトについて教えてくれます。
季節ごとの生き物のお話も聞きながら、
すぐそばにある自然を深く知り、
撮り楽しみましょう。

開催日

- 第1回4月22日(土)
- 第2回6月24日(土)
- 第3回8月26日(土)
- 第4回10月28日(土)
- 第5回1月27日(土)

写真学校会場

多世代活動交流センター3F
多目的集客室M3
鳩山町社労士4-1-1



各回定員20人
中学生以下無料!
高校生以上1500円



講師

三森典彰 (Sanemichi Noriaki)
メディア・フォレスト・フォーラム
「熊井の森」管理運営「Forest」代表
東京理科大学専門学校の教員

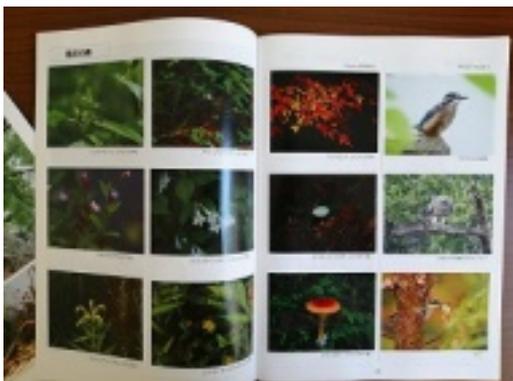


はとやま
祭(11月3
日)を機に
など写真
展覧を
開催し
ます。

主催 NPO法人「はとやま環境フォーラム」
熊井の森トラスト基金
〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
049-227-3001 090-2457-8513 (愛場)
メールアドレス kawasemi3001@gmail.com

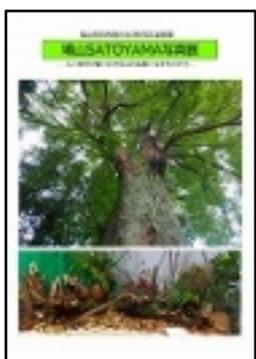
★この事業は公益財団法人サイゼン環境保全基金の助成を受けています。

「鳩山 SATOYAMA 写真展カタログ」販売中!



鳩山町町制施行40周年記念事業として「鳩山 SATOYAMA 写真展」を、令和4年10月8日(土) 9日(日) 10日(祝・月)の3日間鳩山町ふれあいセンターで開催し

ました。テーマは「人と自然が織りなす里山の風景と生きものたち」で、石坂の森、熊井の森、高野倉、赤沼などの四季折々の風景のほか、野鳥・昆虫と草花のネイチャーフォトをはじめ、鳩山町の今昔比較写真や亀井・熊井地区の坂東武者の錦絵などが展示され、延べ300人もが来場され大好評でした。「写真展カタログ」はA4サイズ、48頁、オールカラー。熊井の森のほか鳩山町の自然財産の魅力を知る格好の小冊子として、ぜひお求めください。
頒布価格 400円 (郵送の場合、別途、1部215円)



4・5・6月の活動メニュー

■山作業

ピザ窯上10番付近トレイル整備

4月15日(土)・16日(日) 両日とも9時半、かわせみハウス集合。

5月20日(土)・21日(日)(予備日) 両日とも9時半、かわせみハウス集合。

大雨で浸蝕したトレイルの保全工事
雨水の誘導路を設けて浸蝕を防ぐ



6月17日(土)・18日(日) 新規作業(トラスト1号地山林内の下草刈り) 両日とも9時半、「かわせみハウス」集合。

■エコフェスタ比企in鳩山

5月27日(土) 午前9時 かわせみハウス前で開催
今回で第16回目のバザー。活動資金稼ぎの重要なイベント。乞う、お手伝い(昼食付です)。古本・手作りケーキ・リサイクル品などを出店するならなお歓迎です。



活動報告

■2023年度活動説明会&懇親会

3月19日(日) 午前中、かわせみハウスで開催。若手2人を含む10人参加。熊井の森でのトラウト活動の説明(トラスト地取得の現状、里山整備作業予定、トラスト地ガイドの要請のための観察会のこと等)をしたわけですが、写真学校の撮影テーマの話からまちづくりの話に。鳩山町は交通が不便だ



が、そのぶん静かで暮らしやすいのが、「日本一幸福な鳩山町」の魅力のひとつとか、健康寿命が県下1など活発な意見交換がありました。次回はいつという声もあり、まちづくり懇談会企画に希望が感じられました。

4 April

2023 (令和5年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

5 May

2023 (令和5年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

6 June

2023 (令和5年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

■生きもの学習観察会

4月30日(日) 6月11日(日) いずれも午前9時~11時 かわせみハウス集合(現地合流可) 熊井の森を歩き、道端で見かけた草木や昆虫、樹木の名前などを図鑑片手にネットなども使って調べ、生きものの知識を自分たちで学ぶ観察会。年4回開催予定。

森の守り人——鳩山町、物見山・熊井の森——

居駒春江

1988（昭和63）年8月、山形から引っ越して25年間住んだ鳩山町。私たち一家にとってその25年はかけがえのないものになった。何しろ、3人の子供たちは小学校から社会人へと成長していく時であり、親も子育てを通して、地域の人々や環境と深くかかわった時期である。野鳥の会に入りオオタカの営巣を見守る中で、町が直面するゴルフ場問題にかかわっていったのは自然の成り行きだった。

鳩山町は関越道沿いの格好のゴルフ場開発の地域であった。そのため、ゴルフ場（計画中也含めて）は町の面積の4割にも達するほどだった。オオタカが営巣する物見山は、私たちが引っ越してきた時にはゴルフ場の開発許可が下りる寸前で、結局、ゴルフ場になってしまった。小2の息子が毎朝、物見山に行って見つけたミヤマクワガタの木は伐られてしまった。オオタカも四羽のヒナのうち一番小さいヒナが大きいヒナに襲われるのを目の当たりにし、巣から落ちたヒナを巣に戻し、奇跡的に3羽巣立ったのを観察したのが、最後となった。

そして今度は熊井の森にゴルフ場開発が及んだ。何とかこの森は守ろうと、地元の地権者を1軒ずつ回って話し、土地を売らないように頼んだ。また、熊井の森の豊かで貴重な自然を広く知ってもらおうと、モミの原生林の観察会、オオタカの営巣を見守る探鳥会をした。石場



▲ 竜山放牧場を歩く（かんじきを履いて）

りゅうざん

竜山便り

創刊号 2012年10月

発行 居駒春江 〒985-0801 山形県山形市土屋2-5-1

★ついに発行！

去年の秋、10月2日に埼玉の地味山から山形の西蔵王高原、竜山中腹標高900mの地に引っ越してきた。もうすぐ10ヶ月になる。春、冬、春と過ごし、今、初めての夏を迎えている。転居してすでに、ここは素晴らしい所だと感じたが、季節を巡るごとにその思いはいいよと良くなるばかりである。その喜びらしさをこの「竜山便り」で発信していきたい。

★竜山の地味・・・西行と大山桜

みなさん、ご存知でしょうか。竜山の中腹に三好城という古い地名があることを、これは江戸時代の古文書に、地形の険しい三好野が広がっていたことに由来するとあります。おそらく平塚から竜山中腹まで山と畑の軒が通なる芝罘が広がっていたのでした。コダハラスで酒造（パンション）前の平塚には平塚の礎石跡と云える大石が今も残っています。ここは大山桜の名所です。日没中腹に入ると、紅い霞き満ちて山を彩ります。鎌倉時代、この地を西行が訪れたというのをお知らせ。

龍ひなき崖ひ出野の嶺かな

三好城跡

西行は同書で「嶺の東よりも薄紅の色遠き花にて」と説明しています。西行が作った歌の歌で、花の色をうたったのはこれだけですから、いかにこの地の桜が印象深かったか、よく伝わってきます。それは、先陣の中で比ぶようもない桜花の色地味と感動だったのです。末期に竜山の大山桜を見ると、西行が「薄紅の色遠き」と云った理由がわかります。小豆色に近い薄い桜から遠くまで桜の木に個性があるのです。西行は大山桜のこのような色に驚き、それを基にしたかたちに感じました。（水野和）

薄紅の花のにはははは

（山家集）

西行は「北へようもないほどの思いはとなくと山崎の嶺よ、薄紅の霞に花の色が霞り映えて朝日にまじり、西行は同書で「嶺の東よりも薄紅の色遠き花にて」と説明しています。西行が作った歌の歌で、花の色をうたったのはこれだけですから、いかにこの地の桜が印象深かったか、よく伝わってきます。それは、先陣の中で比ぶようもない桜花の色地味と感動だったのです。末期に竜山の大山桜を見ると、西行が「薄紅の色遠き」と云った理由がわかります。小豆色に近い薄い桜から遠くまで桜の木に個性があるのです。西行は大山桜のこのような色に驚き、それを基にしたかたちに感じました。（水野和）





★懐かしな村長さん

・神保康雄さん（西27年の地産産とペロコダハウス三好野のオーナー。地元、上野の頼れる男）
 “とにかく笑顔にホッとさせてくれるから心から。ここは不思議な所、夜でも真っ暗ではない、明るいと、だから全然怖くないことなんかないよ。野中の方がはるかに怖いよ！”

沼、立野谷、東山沼と周辺の水路に希少種のミヤマコトナゴを探し、トウキョウサンショウウオなど貴重な生物の調査も行った。石場沼・立野谷には毎日のように通った。桜が水面に映る東山沼では、息子がその桜の木にヤマセミが止まっているのを見た。フクロウの巣がある二抱えもするモミの木も見つけた。もちろんオオタカの巣も。秋にはアカモミタケを採ってきのこ汁にした。熊井の森を歩くことが私たち家族の楽しみだった。だから環境アセスメントのために、石場沼から立野谷にかけて工事が入り、立野谷が埋められてしまった時には本当に悲しかった。だが結局、モミの原生林の地権者の反対で土地の買収は虫食い状態となり、計画は断念、熊井の森は残った。そして、子供たちは皆、独立して巣立っていった。

2012（平成24）年10月、私たちは再び山形に戻った。今、私はこの西蔵王高原、竜山中腹の地から、森を守ることの大切さ、必要性、素晴らしさを「竜山便り」で発信している。それは、鳩山町での25年間が私を育ててくれたおかげである。熊井の森はその後、みなさんのたゆまぬ努力で持続可能な遺産となって活用されていると聞く。本当にうれしい。感謝申し上げる。

ニホオ 熊井の森歳時記

竹は「節操堅固」の象徴

タケノコが地表にこっそりと出てくる季節になりました。節ごとに成長点があるため、一斉に伸びてきませんが、いくら伸びても、節の数はタケノコの段階ですでに決まっています。樹木の年輪とは全然違う仕組みのようです。

竹は冬にも凜然と屹立し、寒さに耐えることができることから、中国では竹を「君子」に比して、「虚心正直」「凌寒傲骨」(リョウカンコウコツ)「節操の堅固」の象徴とされています。竹は昔から私たちの暮らしに大変役に立つ植物でもあり、例えば竹冠が付く楽器の漢字では「笛」「箏」(ショウ)「箜」(コウ)「箎」(カ)「簫」(ショウ)「篳」(ウン)、生活道具では「箒」(ソウ)「箕」(キ)「籠」(ロウ)「箸」(チョ)「籬」(ウ)と他にもたくさんあることから窺えます。竹の繊維でできた紙「竹紙」は中国唐代から印刷用紙として文化の伝播に大いに活躍し、竹笹の葉に殺菌力があることから生まれたのが、日本の笹葉寿司や中国の竹葉茶です。熊井の森の竹を活用した面白いイベントができる



とよいですね。(王 菲)

熊井の森畑日記 ハトムギものがたり②

1年目は苗800本を植付



作物づくりはまず、土づくり。出来るだけ、有機肥料・無農薬で育てたいと考えていたので、2021年は3月に市販の牛ふん堆肥を撒き、2022年は豚フン堆肥を撒いた。クワで耕そうと思っていたところ、地主さんが大きなトラクターで耕そうかと声をかけてくれたのでお願いした。ありがたいこと。土の準備はまずは完了。次は畝づくりをしながらかつていく作業だ。1年目の2021年は渡部さんから苗800本をいただき、2日かけて、のべ6名の協力者で植えた。初めての作業なので、「畝の高さは最初低めに」とか「苗と苗は40cm位空ける」とか、渡部さんに一つ一つアドバイスを受けながら進めた。800本はけっこう大変だったけど、皆の協力で無事に植えられ、思わず拍手。まず、第一歩を踏み出した実感。(嵯峨 千代美)

熊井の森トラスト地紹介 第1号・第2号地



▲野鳥観察舎

交番前交差点から越生町に至る県道41号線の「ちよっくま」の手前の交差点を左折し、前川橋を渡ってすぐにわき道を右に入った突き当り、立野谷津の手前右側にある山林。いまでもため池農法で稲作が続けられている典型的な里山の谷津にあるトラスト地である。

コナラやクヌギの雑木林の中に建てられた野鳥観察舎のあたりの平地でしばらくじっとしていると、時々野鳥の音が聴こえてくるだけの静寂に包まれる癒しの空間がそこにはある。

このトラスト地から旧鉱泉跡地に抜ける山道はかつての生活道路だった。年5回の写真学校の撮影フィールドであり、昨年は夜の生きもの観察会が行われた。

地番/鳩山町熊井1468、1579
面積/2921㎡ 地目/山林
取得日/2020年12月10日

熊井の森へのアクセス

【バス】東武東上線「高坂駅」西口広場で町営路線バス「越生駅・上熊井方面行」8:15発(約20分)に乗車→「上熊井」バス停下車、徒歩3分。
【クルマ】関越自動車道坂戸西スマートIC下車 → 鳩山町役場 → 鳩山駐在所を左折し県道41号線を越生方向に走ると、左側に上熊井農産物直売所(ちよっくま)あり。そこから熊井の森へ。

熊井の森トラスト基金へ支援金を

- ゆうちょ銀行 振替口座
記号番号 00210-4-143207
加入者名 熊井の森トラスト基金
- ゆうちょ銀行 支店 ○三八 普通口座
口座番号 9472664
口座名義 クマイノモリトラストキケン
(熊井の森トラスト基金)

活動雑記 活動説明会での意見。「土地持ち貧乏という言葉があるが、地元の人は山を持っていることを負担に感じている人がほとんど。土地を持っている人こそが山を守れるようになってほしい」に同感。我々も今年度からわずかではあるが山林の固定資産税を払う立場に。CO2を吸収し地球温暖化対策に貢献している

山林所有者にこそ、森林環境税を直接還元してほしいものだ。鳩山町には環境保全条例、情報公開条例、住民投票条例の3つの条例がある。地方自治体でこの3つが揃っているのは全国でも珍しい。これも鳩山の隠れた魅力だろう。この通信を読者(活動協力者)との双方向メディアにしていきたい。(愛場)